

平成28年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年5月2日 東

上場会社名 株式会社ポーラ・オルビスホールディングス 上場取引所
 コード番号 4927 URL <http://www.po-holdings.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 郷史
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務担当 (氏名) 久米 直喜 (TEL) 03-3563-5517
 四半期報告書提出予定日 平成28年5月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第1四半期の連結業績(平成28年1月1日～平成28年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第1四半期	49,516	9.1	3,673	26.2	3,381	11.0	3,616	47.8
27年12月期第1四半期	45,392	△9.6	2,909	△46.6	3,047	△41.0	2,446	△1.0

(注) 包括利益 28年12月期第1四半期 2,620百万円(522.1%) 27年12月期第1四半期 421百万円(△85.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第1四半期	65.41	65.32
27年12月期第1四半期	44.25	44.20

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年12月期第1四半期	220,691	178,848	80.9	3,227.51
27年12月期	235,734	180,635	76.5	3,260.00

(参考) 自己資本 28年12月期第1四半期 178,442百万円 27年12月期 180,238百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	70.00	—	80.00	150.00
28年12月期	—	—	—	—	—
28年12月期(予想)	—	90.00	—	110.00	200.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の連結業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	102,000	2.2	9,500	2.8	9,500	△1.8	7,200	18.2	130.23
通期	219,000	2.0	25,000	11.1	25,100	12.3	17,200	22.0	311.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 -社(社名) 、除外 -社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料6ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年12月期1Q	57,284,039株	27年12月期	57,284,039株
② 期末自己株式数	28年12月期1Q	1,996,110株	27年12月期	1,996,110株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年12月期1Q	55,287,929株	27年12月期1Q	55,284,039株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は経済情勢等様々な不確定要因により、これらの予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項は、【添付資料】P.5「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成28年1月1日～平成28年3月31日）におけるわが国の経済は、二人以上の勤労者世帯における実収入の減少等により消費マインドに弱さが見られるものの、雇用情勢や企業収益の改善等を背景に緩やかな回復基調が続いており、今後もこの傾向が継続するものと期待されます。

国内化粧品市場においては、訪日観光客のインバウンド消費により特にスキンケア品が堅調に推移しております。しかしながら、インバウンド消費を除く市場規模は前年並みとなっております。海外化粧品市場においては、中国の経済成長に鈍化がみられるものの、緩やかな拡大傾向が続いております。

このような市場環境のもと、3ヶ年中期経営計画（平成26年から平成28年）の最終年である今年度は、国内の更なる収益基盤強化と海外展開の加速、資本効率改善による企業価値向上を達成すべく、取り組みを進めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における業績は次のとおりとなりました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、基幹ブランドであるPOLAブランド及びORBISブランドに加え、育成ブランドであるTHREEブランド及びdecenciaブランドの好調により、前年同期比9.1%増の49,516百万円となりました。営業利益は売上高増による売上総利益増加により前年同期比26.2%増の3,673百万円、経常利益は前年同期比11.0%増の3,381百万円となりました。以上の結果に加え、固定資産譲渡による特別利益を計上しましたが、法人税等の増加により、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比47.8%増の3,616百万円となりました。

〔業績の概要〕

	前第1四半期 連結累計期間 (百万円)	当第1四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同期	
			増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	45,392	49,516	4,123	9.1
営業利益	2,909	3,673	763	26.2
経常利益	3,047	3,381	334	11.0
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,446	3,616	1,169	47.8

〔セグメント別の業績〕

売上高（外部顧客への売上高）

	前第1四半期 連結累計期間 (百万円)	当第1四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同期	
			増減額 (百万円)	増減率 (%)
ビューティケア事業	42,268	46,154	3,885	9.2
不動産事業	728	757	28	3.9
その他	2,395	2,605	209	8.7
合計	45,392	49,516	4,123	9.1

セグメント利益又は損失（△）（営業利益又は損失（△））

	前第1四半期 連結累計期間 (百万円)	当第1四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同期	
			増減額 (百万円)	増減率 (%)
ビューティケア事業	2,691	3,820	1,129	42.0
不動産事業	317	479	161	51.0
その他	△68	△412	△343	—
セグメント利益の調整額 (注)	△30	△214	△183	—
合計	2,909	3,673	763	26.2

(注) セグメント利益の調整額とは、グループの内部取引に伴う利益及びセグメントに含まれない経費などを連結時に消去・加算した金額であります。なお、セグメント利益の調整額の詳細につきましては、P.11～12「1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報（注2）」をご覧ください。

（ビューティケア事業）

ビューティケア事業は、基幹ブランドとして「POLA」「ORBIS」を、海外ブランドとして「Jurlique」「H2O PLUS」を、育成ブランドとして「pdc」「FUTURE LABO」「decencia」「ORLANE」「THREE」を展開しております。

POLAブランドでは、長期的な安定成長を果たすべく、ブランディングの刷新、プロフェッショナルなビューティディレクター育成に向けた販売手数料体系の変更や教育投資を行っております。国内市場においては、エイジングケアしながら太陽光から肌を守る日中用クリーム「B.A プロテクター」を3月に発売したことに加え、訪日観光客によるインバウンド売上が美容健康食品や化粧品で拡大したことにより、好調に推移しております。海外市場においては、重点市場の中国百貨店事業において、お客さま満足の向上を目指した店頭品質の向上に取り組んでおりますが、香港市場を除き、全体として厳しい状況となっております。以上の結果、POLAブランドは前年同期を上回る売上高となりました。

ORBISブランドでは、ブランド進化による更なる成長と収益向上を目指し、ブランド発信の強化、SNSを活用したお客さま獲得と2回目購入率の向上に取り組んでおります。国内市場においては、美白とエイジングケアを実現する「ORBIS=U WHITE」シリーズを3月に発売しました。また、SNSの活用によりお客さま数が増加する等、好調に推移しております。海外市場においては、中国での自社及び外部ECが好調に推移しております。以上の結果、ORBISブランドは前年同期を上回る売上高となりました。

海外ブランドについては、成長ドライバーであるアジアを中心とした高成長維持と収益貢献の実現に向けた取り組みを行っております。Jurliqueブランドは、豪州市場では前年並みで推移しておりますが、香港や中国市場で厳しい状況となりました。H2O PLUSブランドは、再成長に向けたブランドリステージに取り組む、引き続き中国の不採算店舗の閉鎖を行っております。以上の結果、海外ブランドは前年同期を下回る売上高となりました。

育成ブランドについては、THREEブランドやdecenciaブランドの好調により、前年同期を上回る売上高となりました。

以上の結果、売上高（外部顧客に対する売上高）は46,154百万円（前年同期比9.2%増）、営業利益は3,820百万円（前年同期比42.0%増）となりました。

（不動産事業）

不動産事業では、都市部のオフィスビル賃貸を中心に、魅力的なオフィス環境の整備による賃料の維持向上と空室率の低下に取り組むとともに、子育て支援に特化した賃貸マンション事業も展開しております。当第1四半期連結累計期間は、テナント稼働率や坪単価の上昇により、前年同期を上回る売上高となりました。

以上の結果、売上高（外部顧客に対する売上高）は757百万円（前年同期比3.9%増）、営業利益は479百万円（前年同期比51.0%増）となりました。

（その他）

その他に含まれている事業は、医薬品事業及びビルメンテナンス事業であります。

医薬品事業では、化粧品や医薬部外品研究で培ってきた当社グループの研究成果を活用し、新規医薬品の開発・製造・販売及び医薬品の製造受託を行っております。当第1四半期連結会計累計期間は、重点領域である皮膚科領域にリソースを集中した継続的な活動に加え、グラクソ・スミスクライン株式会社との独占販売契約のもと、尋常性ざ瘡治療配合剤「デュアック®配合ゲル」の販売に努めた結果、前年同期を上回る売上高となりました。

一方営業利益は、「デュアック®配合ゲル」の初期プロモーションにかかる追加費用投入により前年同期を下回る結果となりました。

ビルメンテナンス事業は、当社グループ会社を主な取引先とし、ビルの運営管理を行っております。当第1四半期連結累計期間においては、継続した営業活動により好調に受注を拡大したものの、受注単価減少により前年同期を下回る売上高となりました。

以上の結果、売上高（外部顧客に対する売上高）は2,605百万円（前年同期比8.7%増）、営業損失は412百万円（前年同期は営業損失68百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ15,043百万円減少し、220,691百万円（前連結会計年度末比6.4%減）となりました。主な増減項目は、現金及び預金の減少12,283百万円、受取手形及び売掛金の減少5,426百万円、遊休資産の売却による土地の減少740百万円により減少し、一方で余剰資金の運用による投資有価証券の増加3,716百万円により増加しております。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ13,255百万円減少し、41,842百万円（前連結会計年度末比24.1%減）となりました。主な増減項目は、未払法人税等の減少4,342百万円、販売手数料未払金等の減少による流動負債「その他」の減少7,949百万円により減少しております。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1,787百万円減少し、178,848百万円（前連結会計年度末比1.0%減）となりました。主な増減項目は、為替の影響による為替換算調整勘定の減少810百万円、剰余金の配当4,423百万円により減少し、一方で親会社株主に帰属する四半期純利益の計上3,616百万円により増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成28年2月15日に発表しました業績予想に変更はありません。

(参考情報)

前期累計期間実績

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
売上高	百万円 45,392	百万円 99,783	百万円 152,503	百万円 214,788
営業利益	2,909	9,239	15,247	22,511
経常利益	3,047	9,673	15,404	22,359
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,446	6,090	9,257	14,095

前期会計期間実績

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
売上高	百万円 45,392	百万円 54,390	百万円 52,719	百万円 62,285
営業利益	2,909	6,329	6,008	7,263
経常利益	3,047	6,626	5,730	6,955
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,446	3,644	3,167	4,837

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差
額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更
いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の
確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させ
る方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の
変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度につい
ては、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及
び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首
時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	47,451	35,167
受取手形及び売掛金	27,646	22,219
有価証券	16,700	17,200
商品及び製品	13,463	13,565
仕掛品	1,294	1,252
原材料及び貯蔵品	4,693	4,804
その他	8,928	9,355
貸倒引当金	△154	△129
流動資産合計	120,022	103,435
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	19,354	18,429
土地	19,135	18,394
その他(純額)	14,877	14,738
有形固定資産合計	53,367	51,562
無形固定資産		
のれん	11,894	11,487
商標権	8,983	8,812
その他	11,866	11,509
無形固定資産合計	32,745	31,810
投資その他の資産		
投資有価証券	21,447	25,163
その他	8,219	8,786
貸倒引当金	△67	△67
投資その他の資産合計	29,599	33,883
固定資産合計	115,711	117,255
資産合計	235,734	220,691

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,386	5,118
短期借入金	600	600
未払法人税等	5,523	1,180
賞与引当金	1,734	1,941
ポイント引当金	3,450	3,127
その他の引当金	390	124
その他	26,727	18,777
流動負債合計	43,812	30,869
固定負債		
長期借入金	1,000	1,000
その他の引当金	56	56
退職給付に係る負債	4,026	3,923
その他	6,202	5,993
固定負債合計	11,285	10,973
負債合計	55,098	41,842
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	90,722	90,722
利益剰余金	77,381	76,574
自己株式	△2,194	△2,194
株主資本合計	175,909	175,102
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	512	331
為替換算調整勘定	4,359	3,548
退職給付に係る調整累計額	△542	△540
その他の包括利益累計額合計	4,329	3,339
新株予約権	183	197
非支配株主持分	214	208
純資産合計	180,635	178,848
負債純資産合計	235,734	220,691

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)
売上高	45,392	49,516
売上原価	8,703	9,443
売上総利益	36,689	40,073
販売費及び一般管理費		
販売手数料	10,259	10,874
販売促進費	4,352	5,294
広告宣伝費	1,548	1,814
給料手当及び賞与	4,903	4,797
賞与引当金繰入額	1,014	1,113
ポイント引当金繰入額	2,175	2,362
その他	9,526	10,143
販売費及び一般管理費合計	33,779	36,400
営業利益	2,909	3,673
営業外収益		
受取利息	72	60
為替差益	56	—
その他	67	51
営業外収益合計	195	111
営業外費用		
支払利息	26	16
為替差損	—	374
その他	32	11
営業外費用合計	58	402
経常利益	3,047	3,381
特別利益		
固定資産売却益	0	2,996
為替換算調整勘定取崩益	538	—
その他	5	3
特別利益合計	544	3,000
特別損失		
固定資産除却損	42	44
その他	1	3
特別損失合計	43	48
税金等調整前四半期純利益	3,548	6,334
法人税、住民税及び事業税	557	2,388
法人税等調整額	548	325
法人税等合計	1,106	2,713
四半期純利益	2,441	3,620
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,446	3,616

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)
四半期純利益	2,441	3,620
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	127	△180
為替換算調整勘定	△2,143	△820
退職給付に係る調整額	△4	1
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	△2,020	△999
四半期包括利益	421	2,620
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	423	2,626
非支配株主に係る四半期包括利益	△2	△5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ビューティ ケア事業	不動産事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	42,268	728	42,997	2,395	45,392	—	45,392
セグメント間の内部 売上高又は振替高	19	119	138	380	518	△518	—
計	42,288	847	43,136	2,775	45,911	△518	45,392
セグメント利益又は 損失(△)	2,691	317	3,008	△68	2,940	△30	2,909

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医薬品事業及びビルメンテナンス事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△30百万円には、セグメント間取引消去504百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△535百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社本社の管理部門に係る費用等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ビューティ ケア事業	不動産事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	46,154	757	46,911	2,605	49,516	—	49,516
セグメント間の内部 売上高又は振替高	27	232	260	456	716	△716	—
計	46,181	990	47,171	3,061	50,233	△716	49,516
セグメント利益又は 損失(△)	3,820	479	4,299	△412	3,887	△214	3,673

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医薬品事業及びビルメンテナンス事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△214百万円には、セグメント間取引消去476百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△690百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社本社の管理部門に係る費用等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。